

「平成20年度CEC成果発表会」実施報告

シンポジウム『新しい「学習指導要領」と教育の情報化を考えよう!!「平成20年度CEC成果発表会」』（主催：財団法人 コンピュータ教育開発センター）を3月13日（金）・14日（土）の2日間、東京都江東区青海の東京国際交流館プラザ平成にて開催しました。

当成果発表会には、全国から教育関係者、教育関連企業関係者ら、延べ1,070名の参加をえて、「情報活用能力を高めよう－『教育の情報化』の質的転換期を迎えて－」をテーマに据え、多様化するIT環境においてIT活用を日常の教育現場にいかにかに活かしていくかについての実証実験報告や様々な事例を発表し、意見交換を致しました。

初日の全体会では、当財団理事長 赤堀侃司の主催者挨拶に続き、文部科学省初等中等教育局 視学官 永井克昇氏、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課情報化人材室 室長 夏目健夫氏、総務省情報流通行政局情報通信利用促進課 課長 平林正吉氏からご挨拶をいただきました。基調講演は、独立行政法人大学評価・学位授与機構 機構長 木村 孟様より「新学習指導要領と情報リテラシー－いかにかにして情報を選択するか－」をテーマにご講演いただきました。

分科会では、「教員IT環境と学校DSSへの取り組み」、「教員のIT環境を豊かにするシステムの紹介」、「OSP/OSSへの期待」、「学校情報セキュリティポリシーへの取り組み」、「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」、「教科『情報』の充実と課題－『産業協力情報授業』の効果」、「東京都のダイナミックな動向」、「新しい『学習指導要領』が目指す情報教育」を2日間にわたり実施しました。

2日目の全体会では、総括パネルディスカッションを独立行政法人メディア教育開発センター 理事長 清水康敬氏のコーディネートで、「改めて考える情報活用能力」をテーマに実施しました。研究者、教育現場教師、行政の方々をパネリストにお迎えしご議論をいただき、会場からも活発な意見や質問がなされ、参加者の関心の高さが窺え盛会裏のうちに閉会となりました。

併設展示としては、教育関連企業、IT関連企業、団体から計46のグループの出展があり、また主催者ブースとして、CECインフォメーションコーナー、情報交流資料コーナーを設けました。

（各会場のご紹介）

全体会（開会式）



全体会（基調講演）



分科会(国際会議場)



分科会(メディアホール)



分科会(国際会議場)



分科会(メディアホール)



分科会(国際会議場)



分科会(メディアホール)



全体会 (総括パネル討議)



展示コーナー (ホワイエ)

